



南区

歴史に学ぶ 防災・減災マップ

白水小学校分校に押し寄せた大量の木材
(名古屋市南区 現在の柴田小学校)



一面に浸水した名鉄常滑線徳駅



水がひかず、屋根の上で途方にくれる人



名古屋市南区役所

地震の歴史年表

年代	地震名	主な被害
1498(明応7)年8月	明応の東海地震	東海道地方に大地震。紀伊半島から房総半島が大津波に襲われました。安濃津が陥没し、海になったと言われています。
1586(天正13)年11月	天正地震	近畿から東海道にかけて大地震。家屋が壊れ、死傷者が数多く出ました。名古屋の震度は6~7と推定。
1605(慶長9)年12月	慶長地震	房総沖と南海道沖にほとんど同時に大地震が発生。津波は犬吠岬から九州にかけて発生し、各地で大きな被害が出ました。
1707(宝永4)年10月	宝永地震	名古屋の震度は5~6と推定。名古屋城が大きく損傷しました。
1854(嘉永7)年12月	安政東海地震・安政南海地震	12月23日に安政東海地震。東海・近畿・四国地方にわたる大地震。名古屋の震度は5~6と推定。熱田に津波が来襲。翌24日、安政南海地震。名古屋の震度は5と推定。
1891(明治24)年10月	濃尾地震	震源地は岐阜県の揖斐川上流域。内陸地震としては国内最大級。
1944(昭和19)年12月	東南海地震	震源は紀伊半島沖。愛知県では死者438名。地震と津波により、静岡・愛知・岐阜・三重で被害が多く出ました。
1945(昭和20)年1月	三河地震	震源地は渥美湾。愛知県の死者2,306名。名古屋の震度は4~5と推定。

これから私たちにできること

住んでいる地域のことを知ろう

自分たちが住んでいる地域の特性をよく知っておきましょう。家は標高の高いところにあるのか、低いところにあるのか。近くに河や海があるか。考えられる災害はどんなものがあるのか。家族や地域で話し合ってみましょう。



「いざ」というとき、どうすればいいの知っておこう

あなたは、災害が起こったときに避難する場所を知っていますか？災害はいつ来るかわかりません。日頃からあなたの住んでいる地域の指定緊急避難場所を確認しておきましょう。

また、家具の転倒防止対策の実施、備蓄品・非常持出品の用意など災害への備えを行いましょう。



もし、災害が起こってしまったら…

何よりも自分の身を守ることが大切です。でも忘れてならないことは、人と助け合うことです。災害と言う緊急なときこそ、助け合い、ゆずりあう気持ちが大切になります。災害にあった人たちは、互いに助け合い、励ましあって、災害の辛さや悲しさを乗り越えてきたのです。

災害時要援護者への心配りも

高齢者の方や障害を持った方、外国人や妊産婦など、災害時要援護者といわれる方には、避難に必要な情報を十分に得られない人や、自力で避難することが困難な人もいます。災害時要援護者にとって、地域の人の力はなくてはならないものです。積極的に手をさしのべてください。



主な参考資料

- 「水と風と流木 伊勢湾台風記録集」(小川金雄)
- 「南区誌(区政施行70周年記念)」(名古屋市南区役所)
- 「南区政100周年記念誌」(南区政100周年記念事業実行委員会)
- 「伊勢湾台風を知っていますか」(名古屋市南区役所)
- 「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド名古屋編」(愛知県防災局防災危機管理課)



南区キャラクター Miao(ミオウ)

発行・問合せ先

名古屋市南区役所総務課

南区前浜通三丁目10番 TEL/052-823-9315

主な施設

- 南図書館
南区千竜通2-10-2 TEL/052-821-1732
※南図書館2階に「伊勢湾台風資料室」があります。
- 名古屋市鶴舞中央図書館
昭和区鶴舞一丁目1番155号 TEL/052-741-9822
- 名古屋市都市センターまちづくりライブラリー
中区金山町一丁目一番一金山南ビル12階
TEL/052-678-221
- 名古屋市港防災センター
港区港明一丁目12番20号 TEL/052-651-1100

各機関の災害資料や地図などを気軽に活用しましょう！



伊勢湾台風と南区

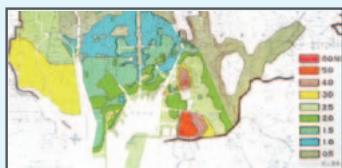
1959(昭和34)年9月26日、夕方に紀伊半島に上陸した極めて大型で強力な台風15号は、名古屋地方に最悪のコースをたどり、名古屋港の潮位は観測史上最高の5.31mを記録しました。河川の増水と高潮が重なり、多数の堤防が決壊し、南区・港区を中心に名古屋市の南部に甚大な被害をもたらしました。

	南区	名古屋市
死者・行方不明者	1,417名	1,851名
全半壊流出家屋	25,359戸	50,972戸

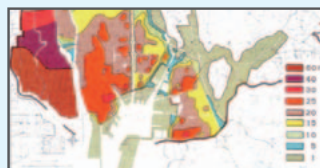


資料/名古屋市調(S34.12.1現在)

伊勢湾台風最高浸水水位図



伊勢湾台風湛水日数図



出典/伊勢湾台風災害誌

① 愛と力の筏像

所在地/大同町3丁目2-1(大同高等学校内)

伊勢湾台風のために、当時の大同工業高等学校は大きな被害を受けました。地上2.62mの高さまで水が来ましたが、そのような状況の中で生徒たちはいかだを作り、救助活動に励みました。彼らの活躍をたたえる気持ちをあらわし、昭和35年12月に記念の像が建てられ、現在、大同高等学校のシンボルになっています。



② くつ塚(伊勢湾台風殉難者慰霊之碑)

所在地/浜田町3丁目(浜田南公園内)

伊勢湾台風後、2週間ほどたって水が引いた後に、多くの靴が取り残されました。人々の手によって集められた靴が山のように積まれていきました。この場所に花や線香がそなえられ、いつしか「くつ塚」と呼ばれるようになりました。碑には亡くなった人々の名前が刻まれています。



③ 母子像(伊勢湾台風殉難者慰霊像)

所在地/柴田町5丁目23番地(柴田公民館前)

左手に赤ちゃんを抱き、右手におさなごを連れた地蔵像。台座には、「高潮のあれ狂いたる白水のその夜の暗に消えし人あわれ」という短歌とともに殉難者926名の名前が刻まれています。



④ 友情の碑

所在地/松下町2丁目1番地(白水小学校内)



⑤ 伊勢湾台風殉難者追悼の碑

所在地/天白町1丁目20番地(いずみ幼稚園内)



⑥ 伊勢湾台風記念碑

所在地/白水町19(柴田小学校内)



⑦ 我等と共に

所在地/観音町1丁目(観音公園内)



歴史に学ぶ



防災・減災マップ

濃尾地震と南区

1891(明治24)年10月28日午前6時38分に岐阜県本巣郡根尾村を震源として発生した国内最大級(マグニチュード8.0)の内陸地震。被害は岐阜県・愛知県を中心に倒壊家屋は14万戸以上、死者7,000人以上という甚大な被害をもたらしました。



東南海地震と南区

1944(昭和19)年12月7日午後1時36分ごろに発生。熊野灘を震源とするマグニチュード8.0の地震。被害は静岡、愛知、三重の三県に大きく、名古屋市内の被害は南部地区に限られ、特に南区では、道徳公園の付近が被害地域となりました。

南区では、死者68人、負傷者147人、住家の全壊265戸、住家の半壊2,531戸の被害となりました。

1 東南海地震の碑

所在地/豊田5丁目15番18号名南ふれあい病院内

昭和19年の東南海地震のとき、名古屋市南区の軍需工場でたくさんの人が命を落としました。名古屋市南区の名南ふれあい病院の敷地には、この軍需工場で亡くなった人たちの霊を慰めるための慰霊碑があります。



三河地震と南区

1945(昭和20)年1月13日午前3時38分ごろに発生。渥美湾を震源とするマグニチュード7.1の地震。震域は、東は関東から西は中国・四国までの範囲で、規模としてはそれほど大きくありませんでした。しかし、愛知県下だけで2,306人という多くの死者を出しています。

南区では、死者2人、負傷者7人、住家の全壊28戸、住家の半壊107戸の被害となりました。

東海豪雨と南区

2000(平成12)年9月11日から12日にかけて東海地方を襲った集中豪雨。日最大1時間降水量97.0mm、最大24時間降水量534.5mmを記録。

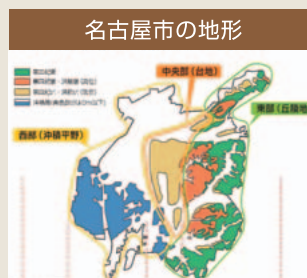
南区では、天白川において堤防越水が生じるなど、主に内水氾濫を中心に、床上浸水1,974棟、床下浸水5,389棟の大きな被害となりました。

名古屋市の地形と現在の標高図

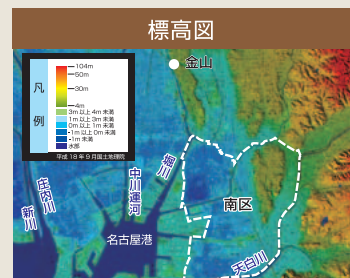
名古屋市の地形は、東部の丘陵地、中央部の台地、北・西・南部の沖積地の大きく3つに分かれます。南区は沖積地に位置します。

南区には、塩がつく町名、新田名が由来の町名が多くあります。

地名の由来を見ると、土地の成り立ちやその歴史がわかります。



名古屋市の地形



標高図

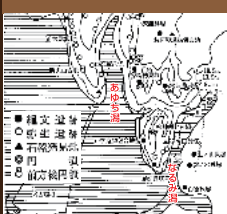
出典/生物多様性2050なごや戦略

出典/国土地理院デジタル標高図に加筆

南区の土地のなりたち

弥生時代、天白川周辺は「鳴海潟」と呼ばれる干潟でした。江戸時代後期以降に開拓や埋め立てによる土地開発が進むまで、南区の西側の低地部は、浅い海となり伊勢湾へとつながっていました。浅い海は、万葉集に「年魚市潟 潮干にけらし 知多の浦に 朝漕ぐ舟も 沖に寄る見ゆ」(作者不詳)と歌われ、地名の語源となった「あゆみ潟」の有力候補地です。

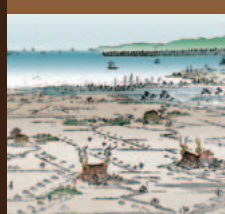
弥生時代の海岸線



出典/名古屋市における縄文・弥生・古墳遺跡の分布図

中世末から近世初頭にかけて台地の西縁下の海辺に近い「星崎七か村」(南野・荒井・牛毛・戸部・山崎・笠寺・本地)では、製塩が盛んに行われ、この塩は「前浜塩」と呼ばれました。

安土桃山時代



出典/尾張名所図会

江戸時代になると新田開発が進むにつれ、製塩業が衰退しました。JR東海道線以西の地は、この頃の新田開発事業によって築造されました。

新田開発当時(江戸時代)



出典/名古屋市南区「地図が語る今昔」